



平成28年11月 8日
奈良市子ども政策課

平素は奈良市の教育・保育行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
9月16日にあやめ池幼稚園で開催いたしました説明会の概要をまとめましたので、お配りさせていただきます。

今後も定期的に説明会を開催し、新たな決定事項等があれば、皆様に適宜お知らせしていきたいと考えていますので、どうぞよろしく申し上げます。

1 当日の説明内容について

(1) あやめ池幼稚園の今後の方向性についての説明会に対する意見・要望について

- 前回の説明会以降に保護者の皆様からいただいている再編に関する意見・要望についての市の考え方を回答しました。

(2) あやめ池幼稚園の今後の方向性について

- あやめ池幼稚園は、園児募集停止等の基準に該当していますが、「平成30年4月入園分」まで園児募集を行い、「平成31年3月」まで運営を継続します。
- あやめ池地域周辺の1号認定の受け皿について、市立園の再編計画を踏まえ説明しました。

2 当日いただいた主なご質問等と市の考え方について

(1) あやめ池幼稚園の再編に関するもの

Q1 他の市立園でもあやめ池幼稚園で行われている「うさぎ組」のような未就園児クラスはあるのでしょうか。

A1 あやめ池幼稚園で行われている未就園児クラス「うさぎ組」の様な取組は、他の奈良市の市立幼稚園でも行っており、市立保育園では園庭開放という形で行っています。また、市立こども園では、対象年齢を拡大し、年齢別に行ったり、専任の職員を配置することで、より充実した子育て支援を行います。さらに、(仮称)伏見こども園では、地域で行われている子育てスポットとも連携を図ることで、子育て支援のさらなる充実を図りたいと考えています。

Q2 こども園に移行した場合、あやめ池小学校との幼小連携はどのようになるのでしょうか。

A2 小1の壁と言われるものが社会問題となっていますが、市としては、小1の壁は幼稚園と小学校との生活環境の違い、具体的には遊びを中心とした生活から、学びを中心とした生活に変わって行くことが、大きいと考えています。その中で、奈良市では、「奈良市立こども園カリキュラム」を作成し、幼児教育を小学校教育に円滑に接続していくことを図っていますので、こども園に移行したとしても小学校との連携は必ず行います。また、距離が離れることで、今までのように容易に連携を行うことは、難しくなるかもしれませんが、他のこども園の事例を参考にしながら計画的に連携を行っていきます。

Q3 あやめ池幼稚園を(仮称)学園南こども園の分園として活用できませんか。

A3 分園方式にてこども園に移行する事例としては、現在市では、平成29年4月に右京幼稚園、神功幼稚園と神功保育園を再編し、神功幼稚園舎と神功保育園舎の両園舎を活用しこども園に移行する取組を進めています。神功では、両園舎の距離が非常に近く、既存園舎を最大限に活用することにより、最小限の施設整備で、こども園への移行を図れることから、分園方式を採用しました。しかし、あやめ池幼稚園を(仮称)学園南こども園の分園として活用することについては、学園南保育園からの距離と通園路の安全確保の問題や、相当の施設整備が必要となってくることから、非常に困難であると考えています。

Q4 方針決定したとのことですが、平成31年4月の移行時期がずれることはあるのでしょうか。

A4 (仮称)伏見こども園及び(仮称)学園南こども園については、平成31年4月にこども園へ移行する方針を決定し公表したことから、平成31年4月の移行を目標として取組を進めていきます。ただし、災害等のやむを得ない事情で施設整備の工程に遅れが出てしまった場合等には、移行時期が変更となることもあります。

Q5 説明資料では、あやめ池幼稚園からの学園南保育園の距離は徒歩13分となっていますが、子どもを連れて歩いた場合は、20分は掛かると思います。

A5 説明資料の時間は、あくまで目安の時間としていますが、ご意見を踏まえ、今後子どもを連れて歩くことを前提とした時間を記載できるように検討します。

(2) その他

Q6 あやめ池地域に新たにできる分譲住宅のチラシに、周辺の施設としてあやめ池幼稚園が紹介されていましたが、市は分譲住宅ができることを認識しているのでしょうか。また、事業者に対してあやめ池幼稚園の再編方針について説明しているのでしょうか。

A6 再編対象の市立幼保施設の周辺で分譲住宅等の新たな開発がある場合は、その情報を把握し、事業者に対して市の再編方針を説明するように努めています。あやめ池地域にできる新たな分譲住宅の事業者には、あやめ池幼稚園の再編方針について説明していましたが、今回ご意見があったことから、事業者に対して、再度再編方針を説明しましたところ、将来的に再編する予定であっても、あやめ池幼稚園は現状存続している園であるため紹介しているとの事業者の意向でした。

Q7 平成31年4月には、伏見幼稚園と学園南保育園が市立こども園へ移行するとのことですが、必ず入園できるのでしょうか。

A7 こども園の定員については、現状の園児数、地域の就学前人口や周辺施設の状況などを考慮して設定しています。さらに(仮称)学園南こども園では、駅前という立地面から様々な地域から子どもが入ってくることを考慮し、しっかりと施設整備を行い、定員設定をしたいと考えていますが、定員を設定する以上、必ず入園できるとの保証はできません。

市立幼保施設の再編に関する問い合わせ先

[担当課] 奈良市 子ども政策課 (市役所中央棟3階)

(担当) 柏木 ・ 北野

[TEL] 0742-34-4792 [FAX] 0742-34-4798

[MAIL] kodomoseisaku@city.nara.lg.jp

[市立幼保施設の再編に関する市のホームページ]

<http://www.city.nara.lg.jp/www/genre/000000000000/1366066836305/index.html>

